

みつけ通信

珠洲市立宝立小中学校だより
令和 2年 1月号



〒927-1222
珠洲市宝立町鶴飼丑部 83 番地
TEL0768 (84) 1106・(84) 1119

令和元年に感謝して、令和2年もよろしくお願いいたします

校長 間庭喜久夫

新しい元号「令和」が5月からスタートした2019年も終わりに近づいてきました。宝立小中学校の子どもたちは、勉強はもちろん、運動会、文化祭、相撲大会などの行事、ふるさと学習に部活動、地域行事への参加……。たくさんの方に頑張りました。その折は、地域、保護者の方々には、何かとお世話になりました。お陰様で子どもたちは伸び伸びと楽しく活動ができました。感謝申し上げます。

特に、10月11日の石川県学校図書館協議会珠洲大会では、読書活動において、県内から来校した人たちに先駆的な実践の一端をお見せすることができました。子どもたちの読書意欲もますます高まり、図書貸し出し数は、うなぎのぼり状態です。



2020年の干支は、「子（ねずみ）」です。もともと干支に使われる漢字は動物を表したのではなく、天体の動きから暦を表すのに使われていたようです。そして、そもそもは季節によって移り変わっていく植物の様子を表した漢字だったようです。十二支のトップバッターの子年を植物にたとえると種子になります。

新しい生命が種子の中にきざし始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。折しも、東京オリンピック・パラリンピックが行われる年でもあります。期待にワクワクします。

3学期は、短期間ですが、今年度のまとめと次年度の準備の両方をする大切な時です。大きな飛行機が離陸するためには、長い滑走路が必要です。この3学期がその滑走路に当たります。3学期を次年度に向けた「0学期」だと考えて、体調を整えつつ、いろいろなことに挑戦して行ってほしいと願っています。

2月1日（土）には、ふるさと珠洲科の発表会もあります。探求学習にがんばります。また、書き初め、縄跳び、英語スピーチにとこの時期ならではの取組にもがんばります。引き続き、地域、保護者の方々のご協力をよろしくお願いいたします。

1月の主な行事予定 ※スペースの都合上、ごく一部の紹介になります。

日（曜）	学校・PTA・地域行事等
4日（土）	「宝立町子ども会」卓球・バドミントン大会 9:00（本校体育館）
8日（水）	第3学期始業式 校内書初め大会 同作品展～1.17 確認テスト（7・8年）
9日（木）	確認テスト（7・8年）
10日（金）	全校集会 避難訓練（地震・津波）
14日（火）	読書ボランティア 学力テスト（9年）
15日（水）	学力テスト（9年） 委員会（小）
17日（金）	ブロック集会
18日（土）	全能登中学校交歓バスケットボール田鶴浜大会
19日（日）	全能登中学校交歓バスケットボール田鶴浜大会
21日（火）	スキー教室（7・8年）～1.23（白山一里野温泉スキー場）
22日（水）	クラブ（小）
23日（木）	全国学校給食週間 ～1.30 集金日
24日（金）	集金日
26日（日）	珠洲市民百人一首かるた大会（個人戦・飯田公民館）
28日（火）	小中委員会
29日（水）	珠洲市中学校英語スピーチコンテスト（大谷小中）



校務員製作の玄関の門松



◎ゆめかなプロジェクト（飯田高校）

全校

1月22日（金）に総合的な学習の時間「ゆめかなプロジェクト」の一環として、飯田高校生10名が来校しました。児童生徒の間にすわり、飯高生が考えたメニューの給食を食べながら、栄養バランスのとれた食事のよさを伝えてくれました。

近年は、コンビニやスーパーでの食品ロスが話題になっています。給食は栄養バランスを考えて松本先生、笹出さん、澤村さん、中市さんが工夫して作ってくれています。

その給食をしっかりと残さず食べられるようにすることは、食品ロスを減らすとともに、地球環境にやさしい社会を作っていくことにつながります。小学校・中学校からそうした意識を育てていくことはとても大切なことだと、この取組を通じて改めて考えることができました。



◇全校集会（離任・着任式） 全校

11月22日（金）全校集会で9月から6年生の担任として勤務していただいた藤田光基先生の離任と濱高先生の代わりに養護助教諭として勤務していただく諸井珠江先生の着任の式がありました。

藤田先生は、初めての義務教育学校で大変勉強になったこと、諸井先生は、養護の先生としてみんなの健康と安全をみていくことを挨拶の中で話していらっしゃいました。お別れしなければならない寂しさとともに、新たな先生をお迎えする喜びもある式となりました。藤田先生、今までありがとうございました。諸井先生、これからよろしく願いいたします。



◇きらり英語科 全校

11月29日（金）に「きらり英語科」の授業公開を行いました。当日は、下表のように分かれて実施しました。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
きらり英語科	【外国語活動】 國永・馬場教諭 ロビー（CIR）		【外国語活動】 松盛教諭 エイデン（ALT）		【英語科】 久保・原教諭 貞弘教頭 サラ（ALT）		【英語科】 川口教諭（飯田高） シンコースキー（ALT）		【英語科】 岡野定教諭（飯田高）

1・2年生は「感謝祭について知ろう」3・4年生は「アルファベットを使って活動しよう」5・6年生は「フォニックスを使って活動しよう」というテーマで本校の教諭が授業をしました。



7・8年生、9年生は、飯田高校の先生方に出前授業をしていただきました。7・8年生の合同授業では、川口教諭とマシュー・シンコースキーALTに授業をしていただき、クリスマス为主题として、楽しく学ぶことができました。



9年生では、岡野定教諭に授業をしていただき、英語によるスリーヒントクイズで職業や動物名をあてる授業を体験しました。生徒たちは、楽しみながらも3種類の辞書を使いこなす大変さに高校英語の難しさを感じていました。

◇「生き物観察会報告会」 3・4年

11月28日（木）に、ラポルトすずで生き物観察会報告会がありました。生き物観察会で採集した生き物や宝立の自然について考えたことを発表しました。準備の段階から、4年生のアドバイスを受けながらいねいに資料作りをしたり、どんな特徴があるか話し合いをしたりと、協力して準備ができました。市内他校の小学校3・4年生や地域の方が見守る中、堂々と発表することができました。



◇奥能登国際芸術祭子ども向けワークショップ 7～9年生

12月16日（月）に、寺尾ユリ子先生（絵画造形教室主宰）塚本浩子先生（アーティストの出会い石川代表）を講師にお迎えして奥能登国際芸術祭子ども向けワークショップを行いました。

様々な視点や価値観で表現される現代アートにおいて、「受け入れる」ことは、楽しむ上で大切なポイントになることから、「今の私」「他者を受け入れた私」「他者同士で受け入れ合った私たち」を絵として表現する授業でした。

最初に心の風景を一人で画用紙に描いた絵を5つに切り分け、5人で交換して作品を作りました。最後にその作品を集めて大きな作品に仕上げました。

【生徒の感想から】

今の自分を色や形で表現するのは初めてで、最初は難しいと思ったけど、やってみるとすごく楽しかったです。グループの人の分身をもらって、つなぎ合わせてみんなで大きな作品をつくるのも面白かったので、今度は大人数でもやってみたいです。



◇ご芳志をいただきました 地域の皆様

12月に垣内ふぁーむの垣内信一さん（春日野）からリンゴをたくさんいただきました。給食で、デザートや和え物としていただきました。とてもおいしかったです。

地域の皆様には、いつも大変お世話になり、本当にありがとうございます。



いただいたリンゴ